「絵封筒をおくろう」(726.5キ)

きたむら さとし，松田素子：著

「かわいらしい」「遊びゴのある」「おちゃめな」「しかけのある」などなどの魅力あふれる素敵な絵封筒を作って送ってみませんか。

届ける人に小さな幸せを運んでくれそうです。
実際に作らなくても、紹介されている絵封筒を眺めるだけで、幸せな気持ちになれます。

「雨がくれる50のしあわせ」(159-6ヨ)

吉沢 深雪：著

雨が降ると、その日憂鬱な気分になる人が多いのでは??
この本では、雨が降ることで、家でのんびりした時間を過ごせること、自分磨きの方法が50書かれています。
きっとあなたも、この本を読んだあと、雨が降ると ラッキーと思えるようになっているかも!?

「刺繍」(Fカ)

川本 晶子：著

39歳でパッチのエリ。
20歳の恋人がいるが、この先のつき合いがどうなるのかは分からない。
仕事はパッとしないし、母は日に日にいろんなことを忘れていく…。
母に忘れられていくかなしさと、母の看護を第一にする父と恋人から感じる疎外感で、彼女の毎日は決して楽しいものではない。
けれど、ついに彼女は気づく。
あまったれた自分と自分の持っているたくさんの「幸運」に。

「女王の鼻」(K933キ)

ディック・K・スミス：著

あなたの願いごとは何ですか。
ハーモニーがジンジャーおじさんからもらった50ペンスコイン。女王の顔がほってあるコインを包んでいた紙には、謎のことばが書かれていました。
「わしでもない ししでもない すっきり まっすぐ そここすま」
なんと そのコインは、願いごとがかなう幸運のコインだったのです。
かなえられる願いは七つだけ。
ハーモニーは どんなねがいごとをするのでしょうか。

「幸運は小枝のなかに」

『本当に読みたかったアンデルセン童話』より (949ア)
アンデルセン：著，イェンス・アナセン：編

神様はお母さんのもとに赤ちゃんを運んでくる時に、一緒にその子どもへの幸運の贈り物を持ってくる。
ある貧しい男に神様が贈った幸運の贈り物とは…？
この本には、アンデルセンの童話であまり知られていないものが23篇収められている。
子どもに語りかけるように書かれたアンデルセンのお話が楽しめる1冊。

「Seven Powers」(Y963ロ)

アレックス・ロビラ：著

はるか昔、ひとりの若い騎士が王国を救う為に「運命の地」へと旅立ちます。そこには様々な試練が待ち受けていて―。
ファンタジー仕立ての人生訓。
幸運な人生を送るために必要な7つの力を紹介します。
これを読めば、あなたも「幸運をよぶ7つの力」が手に入るかも!?

「なりたい自分になるための色の掟。」(147.7タ)

高坂 美紀：著

色があたえる影響は思う以上に大きい。
自分の身につけている色が、他人にどんな印象を与えているのか考えたことがありますか？
顔まわりにある色によって第一印象が決まります。
明るい色を身につけるだけで、思わぬ幸運が訪れることも。
ぜひ、この本で自分の色を見つけてみて下さい。

「とっても不幸な幸運」(Fハ)

島中 恵：著

新宿にひっそりと佇むバー「酒場」は、ひねくれ者の店長と風変わりな常連客で賑わっていた。
ある日、店長の娘のリナが百円ショップで購入した「とっても不幸な幸運」という缶詩を持ち込んだところ、開封した人が次々と奇妙な体験に襲われていく。
缶の中に詰まっていたのは、果たして幸運か不幸か…

「わたしゃ ほんとにうんがいい」(E388ワ)

せな けいこ：文・絵

にこにこばあちゃんのくちぐせは、「わたしゃ ほんとに うんがいい」。
ある日、にこにこばあちゃんは、金貨のたくさん入ったつぼを見つけます。
だけどこのつぼをひっぱっていくと…!
何が起きても「わたしゃ ほんとに うんがいい」と言えるおばあちゃんと、可愛いイラストに思わずほほえんでしまう1冊です。

「日本一不運な男」(Fシ)

新堂 冬樹：著

禍福があざなえる縄のごときものであるならば、常に幸運のとなりには不運がすわり、ラッキーと背中合わせにアンラッキーが潜んでいるのだと考えなければならない。
まんが・三沢は、目の前に突然おとずれた悲運の「不運」から逃れることができるのか。
そして、この本を読むあなたは？
ぜひ、お読みください。

「いつも だれかが…」(E943ハ)

ユッタ・バウアー：作・絵

幸運だった一生を語る祖父とその話を聞く孫、そして二人を「見守る存在」を描いた絵本。
ほのぼのとした文と挿絵のギャップが時におかしく、時に悲しい。
生きる喜びも苦しみも描かれていて、最後のおじいさんの一言はとても心に響きます。
'02年 ドイツ児童図書賞最終候補作品

「ついてる 月次郎」(K913ス)

杉山 亮：著

月次郎はオスの三毛猫。
昔からオスの三毛は幸運を運んでくるとされていて、捕まえようとする人間が後を絶ちません。
そこで、旅にでた月次郎は、出会った貧乏神に人間の姿に変えられてしまいます。
人間になっても何かと災難に出くわしますが…
幸運を呼び寄せる猫の旅物語です。

「ビジューとフルール」(E913カ)

亀岡 亜希子：著

故郷へ帰ってきたオスっぱめのビジューは、メスっぱめのフルールに出会い、ともに暮らし始めます。
2羽が巣づくりに選んだのは、若いカップルが住む家でした。
やがて迎えた巣立ちの時、子育てを助けてくれたカップルに、つばめたちが贈ったプレゼントとは…？
幸運を運ぶつばめと、人間の新たな旅立ちを描いた、ほほえましい作品です。

大吉 中吉 吉 凶 小吉

イベントのごあんない

そっとおとどけ vol.76

A HAPPY NEW YEAR

2010年 1月号

1月

9日(土)：土曜シアター 〈ユメニティ小ホールにて〉
上映作品『プロポーズ』(カラー，102分)
14:00 開演 (13:30 開場)

12日(火)：麦のこ(乳幼児向けおはなし会)〈図書館おはなしコーナーにて〉
11:00～

16日(土)：図書館職員によるおはなし会 〈図書館おはなしコーナーにて〉
14:00～

23日(土)：大人のおはなし会(ストーリーテリング)〈ユメニティ2F会議室にて〉
14:00～

2月

9日(火)：麦のこ(乳幼児向けおはなし会)〈図書館おはなしコーナーにて〉
11:00～

13日(土)：昔ばなし語ろう会 〈図書館おはなしコーナーにて〉
(昔ばなしの読み聞かせ)
14:00～

27日(土)：やまびこ会(手あそび、おはなし会)〈図書館おはなしコーナー〉
14:00～

図書館カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

■■■ はおやすみです ※ 太字は17時開館です

直方市立図書館 tel.0949-25-2240
URL http://www.yumenity.jp/library/ library.html
開館時間 火～土 10:00～19:00、日・祝 10:00～17:00

「そっとおとどけ」は、本をもっと好きに、図書館をもっと身近に感じてもらえたら…という想いから生まれました。

2010年、最初の号です。図書館での楽しいイベント情報や司書オススメの本の紹介をしています。
今年も、直方市立図書館をどうぞよろしくお願いいたします。

楽しく図書館を利用していただくために！

第6回 図書館の本の並べ方〈別置②〉

前回から、〈別置〉(必ずしも十進分類法に従わない本の並べ方)について説明しています。 今回は、その第2回目。

駅側入口から入って左折し突き当たりの「旅行書のコーナー」(前回紹介)を右に進むと、道路に面したカウンター型の閲覧席が2席あります。
その先の壁面書架が④「家庭コーナー」です。ここには手芸、美容、料理住居、家庭衛生の本を置いています。
「家庭コーナー」の背面には⑤「全集」と⑥「点字本」の棚があります。
その棚を抜けると、調べものの為の⑦「参考資料」があります。
(このコーナーの本は、閲覧専用の為、貸出しはできません。)
その奥の壁面書架には⑧「郷土資料」があり、直接に関わる資料全般を集めています。

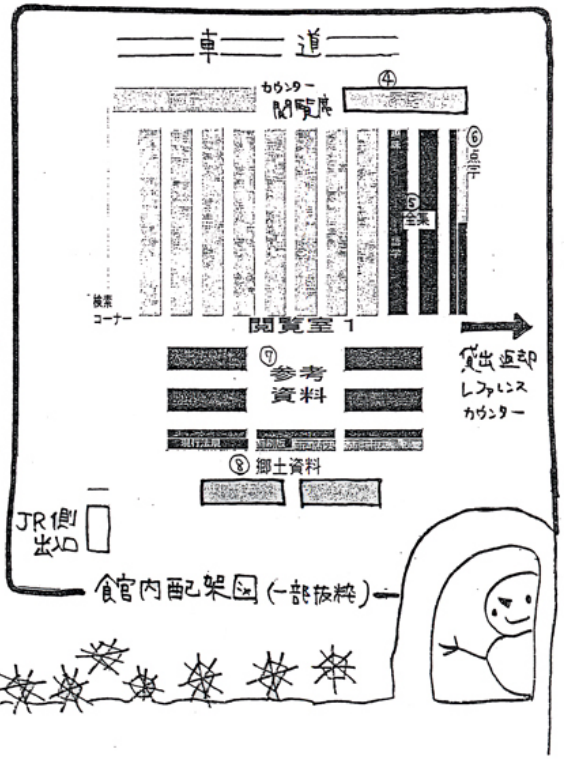
図書館展示のごあんない

一般展示コーナー

- 番羽訳家特集 [12月25日から 1月26日まで]
- 書評集メモリアル since 2002 [1月28日から]

児童展示コーナー

- クリスマス・年末年始特集 [11月26日から 1月17日まで]
- 気持ちを伝えよう [1月19日から 2月14日まで]



館内配架図(一部抜粋)